

## おもてなしの心を もって観光促進を

市村 達明 議員

**問** 観光資源について、舟運事業と七福神が主体事業としてホームページに掲載しているが現状は。

**建設部長** 舟運事業は、千葉、茨城の市町村で協議会を形成し、水辺を利用した取り組みを行っている。市も香取市など行った先々の舟運事業を見ている。

**まちづくり振興部参事** 七福神マップを使い、高齢者の方が多数市内のお寺を巡っている。

**問** 2つの事業についてツアーをやっていくということとはなかったのか。

**答** コラボしたツアー的なものは組んでない。今後、検討したい。

**問** 産業振興戦略プラン以外に観光について示す計画はあるか。

**市長** 健康ウオーキングのためのさまざまなルートづくりをしており、観光とは少し逸脱するが、健康づくり等々と併せて地域資源をどう結びつけるかということになると思う。

**問** 観光が人の目に触れるように、市のホームページの観光協会へのリンクを大きな画像にしたり、バナーを用意してはどうか。

**政策推進部長** 観光協会等々、公共性が高い団体やイベントは取り上げていき、ビジュアル的にもPRできるような工夫している。また、市民が利用しやすいものを考え、検討していく。

**問** 月・木・SAYにリンクを貼ることはできるのか。

**広報広聴課長** 職員一人一人が情報を発信するということで、リンクを貼って案内することも行っている。

**「月・木・SAY」とは？**  
ホームページを、中心として、市職員が個人ページを、月曜日・木曜日を「ささやき」として発信している。月曜日・木曜日を「ささやき」として発信している。

## 自然エネルギーと 地域資源の活用

飯島 悠介 議員

**問** 自然エネルギーの活用は、どのような形で環境基本計画に載っているのか。

**まちづくり振興部長** 今後、計画の見直しの中で明記し、個別計画に入りたい。  
**問** 公共施設のファシリテイマネジメント（※1）に関して、施設の運営維持の合理化計画は。

**公共施設整備課副参事** インハウスESCO事業（※2）として、新電力会社や太陽光発電の導入に取り組んでいる。光熱水費等のデータを分析する手法もあるのを考えていく。

**問** 我孫子市、流山市が取り組む、民間業者による施設の包括管理サービスと修繕立案についての取り組みは。

**答** 先進事例について調査、検討し、今後できるところから取り組んで行きたい。

**問** 空き家バンクの創設についての取り組みは。

**総務部長** 価値の低い物件が残るのではないかと心配している。もう少し研究が必要と考えている。

**問** 市のリバースモーゲージ（※3）の活用実績は。

**健康福祉部長** 5人の相談を受けたが、条件が厳しく相談で終わっている。  
**問** アクシオンプランの設定なども踏まえ、地域資源をどう生かすかという点で、全庁的なワーキングチームを作るべきと考えるが。

**副市長** 全庁的にまたがる非常に重要な問題に関して、検討していきたい。  
※1 ファシリテイマネジメント：土地、建物、設備等を経営にとって最適な状態で保有、運営し、維持するための総合的な管理手法。  
※2 インハウスESCO事業：組織内において職員

が自ら取り組み省エネルギー改善事業。  
※3 リバースモーゲージ：自宅を担保に年金または一時金を受け取り、返済は借主が亡くなった際、担保となつている自宅を、貸主が売却することにより返済される仕組み。

## スポーツ大会出場 奨励金

赤羽 直一 議員

**問** 藤代高校の甲子園出場に対して、奨励金は500万円であったが、スポーツ大会出場奨励金要綱を見ると、高校野球以外は、関東以外で開催される全国大会でも1団体4万5000円となっている。なぜこんなに差があるのか。

**教育部長** スポーツ奨励金の額については、市民のスポーツへの意欲を高め、技術力の向上を推進するたため、27年度から増額する旨の見直しを行っている。高校野球は全国規模で行われ、テレビ放映もあることから、非常に市のPRになるといった意見もあり、了承を得ている。

**問** 奨励金の見直しを始めたとのことだが、10倍にしても高校野球の10分の1以下である。どのように考えているのか。

## 計画的な広報を！

渡部 日出雄 議員

**問** 市内の新聞をとっていない世帯に対して、ウエルネスプラザを広報する手段について、どのように考えているか。

**都市整備部次長** 広報とりで、ホームページ、民間動画サイトなど様々なメディアを通して周知している。また、ウエルネスプラザの施設イメージを駅前で映し、通る方々にPRしている。

**問** 取手市民以外の多数の利用者を予想しているが、対象となる人の認知度は把握しているのか。  
**都市整備部長** 近隣市にはこれからPR活動をしてい

く。また9月から、取手駅東口の交通広場にある河川情報表示盤で、多目的ホールやキッズプレイルームなどの施設を紹介している。  
**市長** 県民大学の会場を取手で相当増やしている。この流れでウエルネスプラザの会議室、多目的ホールの利用が見込める。

**問** 広報活動には、駅やバス停への常設看板の設置や広告代理店を利用する方法もあるが。

**都市整備部長** ウエルネスプラザの管理には指定管理も視野に入れて検討しており、建物が完成し、オープンまでの3ヵ月間、指定管理者の業務の中にPR活動を考えている。また広告代理店等の利用も考えている。

**問** 工事現場の囲いパネルを使った看板を検討しては。

**答** パネルにイメージパーツやホールの写真などを載せ、来年10月オープンを強くPRしていきたい。

次の定例会は、  
11月27日(木曜日)  
開会の予定です。